

令和4年度（2022年度） 千葉市下水道事業会計当初予算

目次

1 予算の概要

(1) 予算の基本的な考え方	P.2
(2) 業務の予定量	P.5

2 令和4年度予算

(1) 収益的収入・支出	P.7
(2) 資本的収入・支出	P.8

3 予定財務状況

(1) 経営状況	P.9
(2) 予定損益計算書	P.12
(3) 予定貸借対照表（バランスシート）	P.13
(4) 予定キャッシュ・フロー（C F）計算書	P.14
(5) 予定資金収支（対中長期経営計画比較）	P.15

4 令和4年度予算における重点事務事業

(1) 重点事務事業の予算	P.16
(2) 各主要施策の予算	P.17



単位未満を四捨五入で表示しているため、合計が一致しない場合があります。

1 予算の概要 (1) 予算の基本的な考え方

【基本的な考え方】

令和3年度から令和14年度までを計画期間とする千葉市下水道事業中長期経営計画では、3つの基本方針と主要施策に基づき、事業を運営していくこととしています。

令和4年度予算における基本的な考え方、重点事務事業は次のとおりです。

＜基本方針Ⅰ 安全・安心で快適な生活を支える下水道＞

- 雨水対策重点地区整備基本方針に基づいた浸水リスクの高い「重点地区」、その他の「一般地区」において、雨水管渠や貯留槽などの整備を進め、さらに、令和元年10月25日の大雨により浸水被害を受けた地区においても浸水対策を実施するほか、市民による防水板設置費用の一部を助成します。
- 大規模地震発生時における下水道の機能を確保するため、下水道管渠などの耐震化とともに、避難所へのマンホールトイレの設置を進めます。
- 下水道の適正な機能を維持するため、ストックマネジメント計画に基づき、処理場及びポンプ場設備の点検・補修を適正に行い、必要に応じて改築を進めるほか、将来人口減少に伴う汚水量を考慮し、老朽化したポンプ場の統廃合を進めます。管渠については、道路陥没などの未然防止のためカメラ調査などによる点検を行い、補修や改築を進めます。
- 快適な暮らしの基盤づくりに向け、汚水管渠の整備を進め、未普及地域の解消に努めます。

＜基本方針Ⅱ 環境の保全と循環型社会を目指す下水道＞

- 南部浄化センターにおいて汚泥固形燃料化事業の事業者選定を行うほか、太陽光発電とバイオマス資源の利活用検討を進めます。

＜基本方針Ⅲ 健全な経営に基づいた持続可能な下水道＞

- 両浄化センターにて、引き続き包括的民間委託による維持管理を行うほか、管路の維持管理においても包括的民間委託の導入に向け実施方針を策定し官民連携の推進を図るなど、良質で持続可能な下水道サービスを提供するため、更なる経営基盤の強化に努めます。

【重点事務事業】 () は千葉市下水道事業中長期経営計画における施策の位置付け

(1) 浸水被害の軽減と対策の強化 (主要施策Ⅰ－1) 39億9,450万円

局地的な大雨による浸水被害を軽減するため、雨水管渠や貯留槽などの整備を進めるほか、市民による防水板の設置費用の一部を引き続き助成します。

(2) 地震時における機能の確保 (主要施策Ⅰ－2) 17億5,460万円

地震発生時に下水道の機能を確保するため、管渠及び処理場等の耐震化を進めます。

(3) スtockマネジメントの推進 (主要施策Ⅰ－3) 47億5,128万円

下水道の適正な機能を維持するため、施設の改築を進めます。

(4) 下水道施設の点検・補修 (主要施策Ⅰ－3) 6億7,161万円

下水道の機能を維持するため、施設の点検・補修などを行います。

(5) 施設の再構築 (主要施策Ⅰ－4) 1,600万円

将来の汚水量の減少を考慮し、老朽化したポンプ場の統廃合を行います。

(6) 未普及地域の解消 (主要施策Ⅰ－5) 2億7,340万円

快適な市民生活に寄与するため、污水管渠の整備を進めます。

(7) 高度処理の推進 (主要施策Ⅱ－2) 4億5,700万円

東京湾の水質保全と良好な水環境を整えるため、高度処理施設の整備を進めます。

(8) 資源の有効利用 (主要施策Ⅱ－4) 3,982万円

(その他、債務負担行為 R5～R30 200億円)

温室効果ガス排出量削減を図るため、污泥固形燃料化事業等を進めます。

(9) 官民連携の推進(包括的維持管理) (主要施策Ⅲ－2) 29億6,595万円

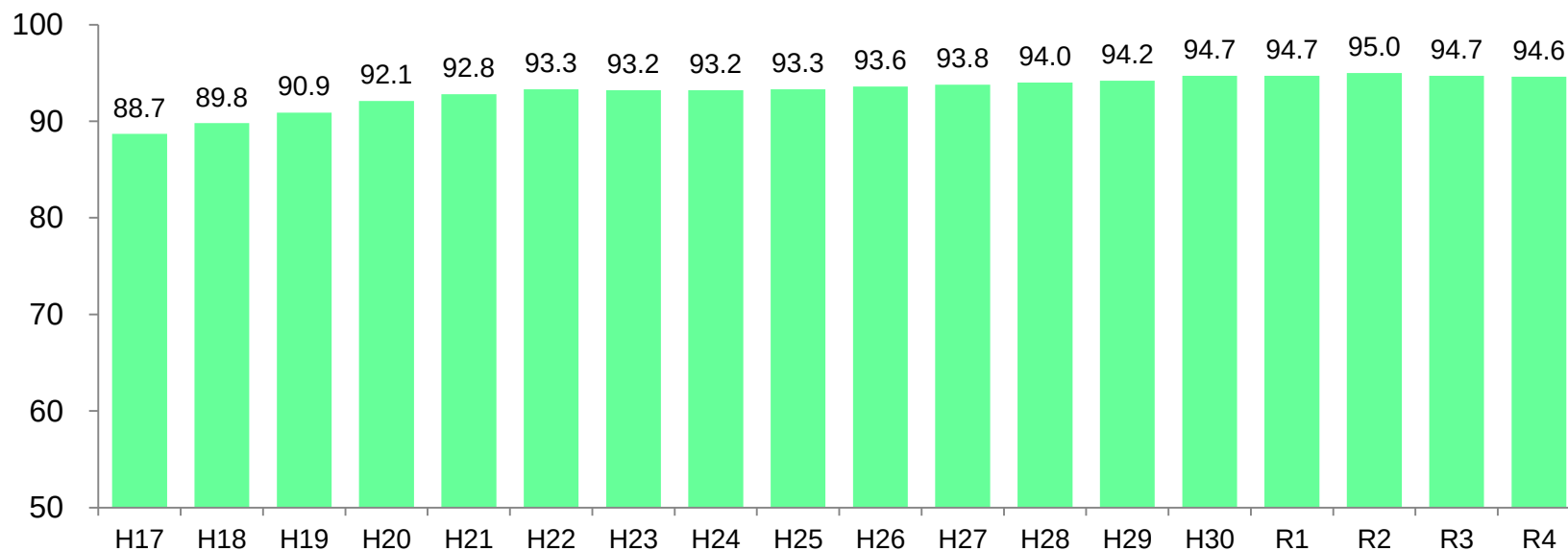
浄化センターの維持管理業務について包括的民間委託を行うほか、管路施設についても、新たに包括的民間委託の導入に向け実施方針策定を行います。

1 予算の概要 (2) 業務の予定量

令和4年度は、行政区域内人口973,355人に対し、整備区域内人口は946,457人で、
汚水処理世帯数454,914世帯、年間総処理水量1億2,310万1,747m³（1日平均処理水量
33万7,265m³）を予定しています。

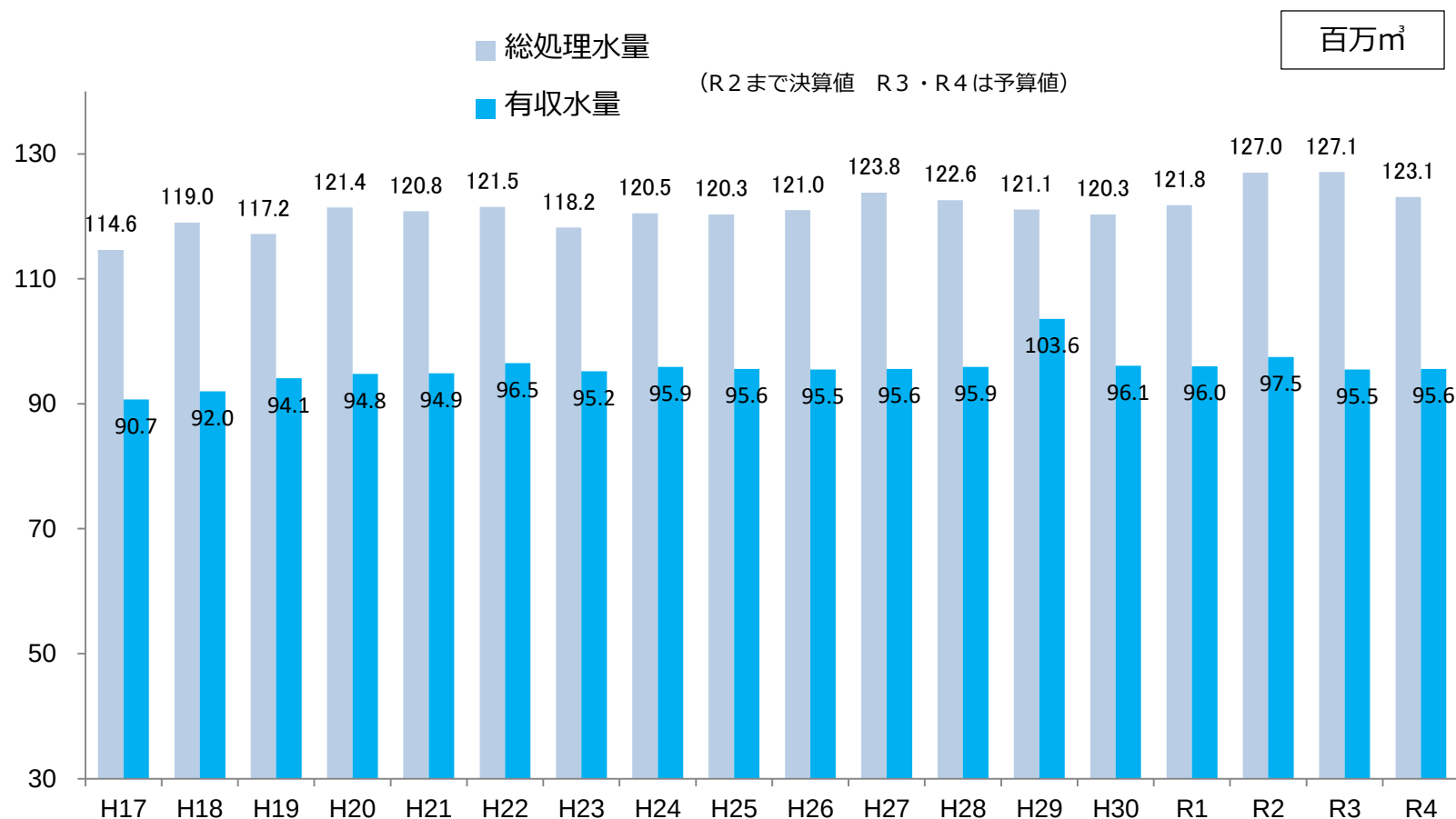
整備区域内人口

万人



R2まで決算値 R3・R4は予算値

年間総処理水量・有収水量

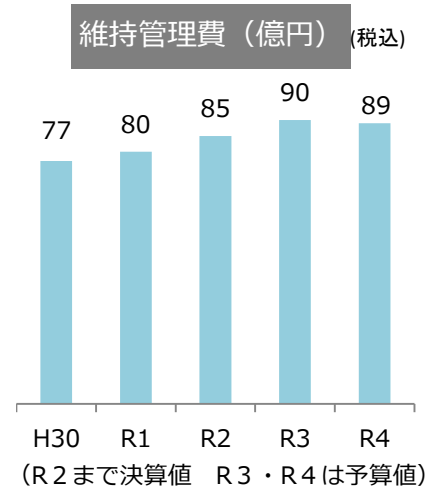


※ H29の有収水量は、県企業局給水区域における上下水道料金徴収一元化に伴い、調定月が一元化前に比べ1か月早くなったことにより13か月分となっています。

2 令和4年度予算 (1) 収益的收入・支出

7

(単位：百万円・税込)	R3予算額	R4予算額	増減額	増減率
1 収益的收入（下水道事業収益）	30,509	30,352	▲157	▲0.5%
（1）営業収益	22,588	22,584	▲4	▲0.0%
①下水道使用料	14,639	14,645	+6	+0.0%
②他会計負担金	7,886	7,870	▲16	▲0.2%
③その他	63	69	+6	+9.5%
（2）営業外収益	7,893	7,685	▲208	▲2.6%
①他会計補助金	132	78	▲54	▲40.9%
②長期前受金戻入	7,721	7,572	▲149	▲1.9%
③その他	40	35	▲5	▲12.5%
（3）特別利益	28	83	+55	+196.4%
2 収益的支出（下水道事業費用）	29,537	28,862	▲675	▲2.3%
（1）営業費用	25,663	25,408	▲255	▲1.0%
①維持管理費	8,972	8,927	▲45	▲0.5%
②減価償却費	16,071	15,831	▲240	▲1.5%
③資産減耗費	620	650	+30	4.8%
（2）営業外費用	3,756	3,423	▲333	▲8.9%
①支払利息	3,277	3,080	▲197	▲6.0%
②その他	479	343	▲136	▲28.4%
（3）特別損失	98	11	▲87	▲88.8%
（4）予備費	20	20	0	0%



主な増減要因

生活保護世帯等に対する下水道使用料減免廃止による一般会計からの繰入の減

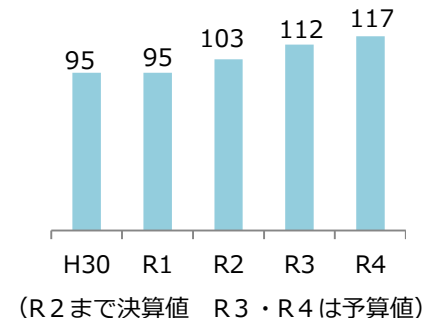
消費税納税額の減



2 令和4年度予算 (2) 資本的収入・支出

(単位：百万円・税込)	R3予算額	R4予算額	増減額	増減率
1 資本的収入	18,436	18,871	+435	+2.4%
(1) 企業債	12,801	13,270	+469	+3.7%
①建設企業債	7,817	8,044	+227	+2.9%
②流域下水道負担金債	184	328	+144	+78.3%
③資本費平準化債	4,800	4,898	+98	+2.0%
(2) 他会計出資金	845	964	+119	+14.1%
(3) 補助金	2,879	3,010	+131	+4.6%
(4) 負担金	1,789	1,623	▲166	▲9.3%
(5) その他	122	4	▲118	▲96.7%
2 資本的支出	28,473	29,041	+568	+2.0%
(1) 建設改良費	11,225	11,652	+427	+3.8%
①管きょ布設費	7,021	7,138	+117	+1.7%
②ポンプ場建設費	668	1,880	+1,212	+181.4%
③処理場建設費	2,627	1,704	▲923	▲35.1%
④計画認可費	151	242	+91	+60.3%
⑤給与費	758	688	▲70	▲9.2%
(2) 固定資産購入費	333	385	+52	+15.6%
(3) 償還金	16,900	16,990	+90	+0.5%
①建設企業債償還金等	13,862	13,623	▲239	▲1.7%
②資本費平準化債償還金	3,038	3,367	+329	+10.8%
(4) その他	15	14	▲1	▲6.7%

建設改良費（億円）(税込)



主な増減要因

出資金の対象である資本費平準化債の雨水分元金償還金の増

中央浄化センター1系列目の高度処理化が完了し、改築の重点が処理場からポンプ場に移ったことによる。



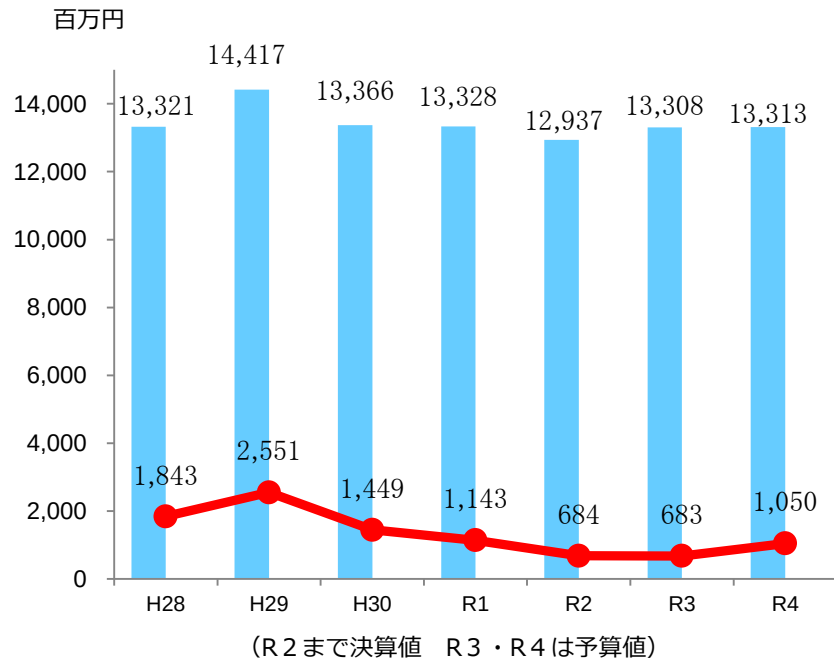
※資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、補てん財源を使用

補てん財源：現金支出のない費用や減債積立金等による内部留保資金

3 予定財務状況 (1) 経営状況

使用料収入・当年度純利益

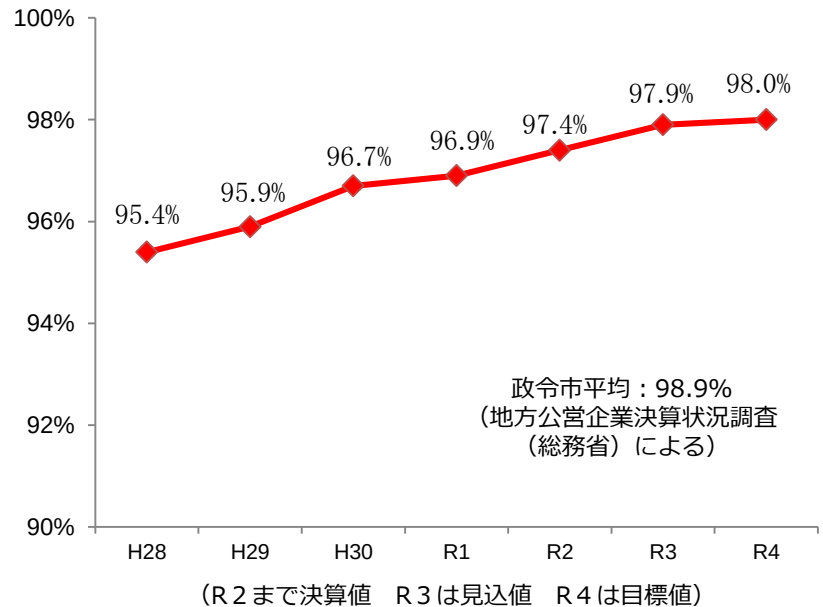
■ 使用料収入 ● 当年度純利益



※ H29の有収水量は、県企業局給水区域における上下水道料金徴収一元化に伴い、調定月が一元化前に比べ1か月早くなったことにより13か月分となっています。

収納率

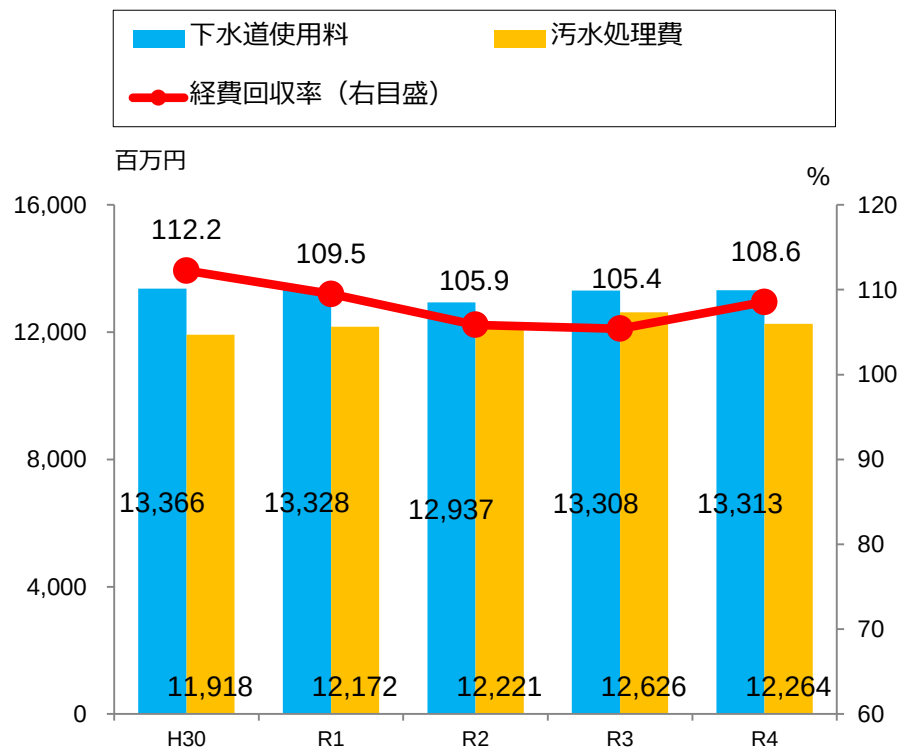
● 収納率



※ 3月調定分を反映させるため、5月末時点の収納率を記載しています。

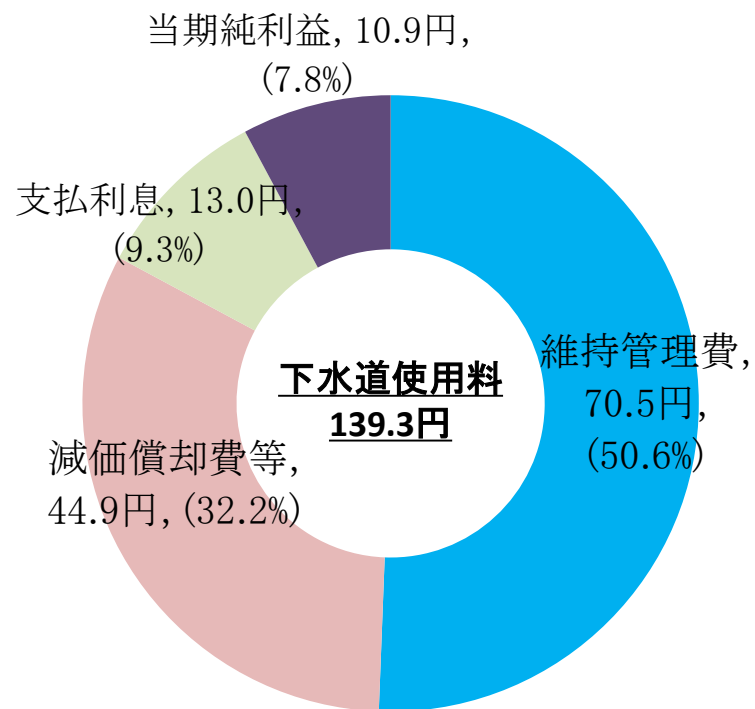


下水道使用料・汚水処理費・経費回収率



経費回収率(%) = 下水道使用料 ÷ 汚水処理費 × 100

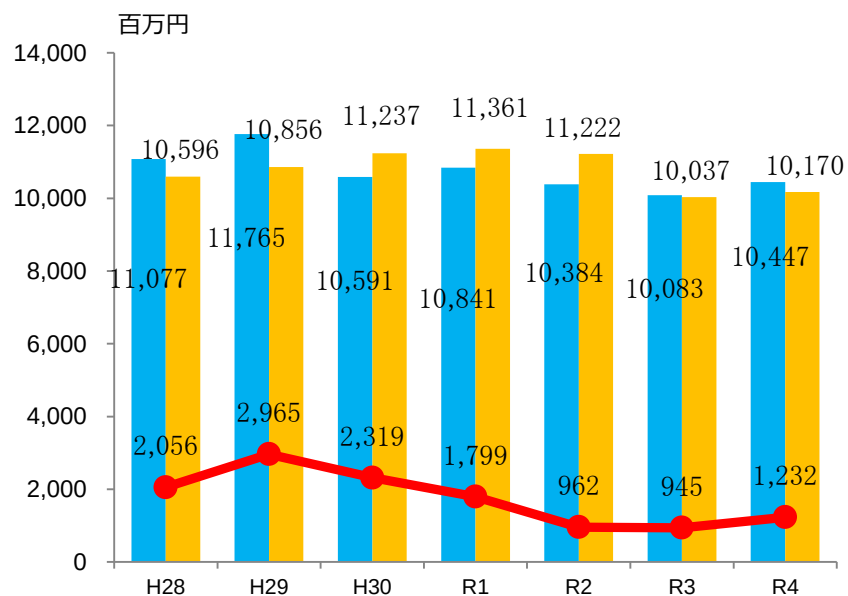
(R2まで決算値 R3・R4は予算値)

1 m³あたりの下水道使用料の使い方

下水道使用料のうち、約半分が過去に下水道施設の整備のために発行した企業債の元金償還財源（減価償却費や当期純利益）及びその利息の支払財源に充てられます。

補てん財源残高

補てん財源発生額 補てん財源使用額
補てん財源残高

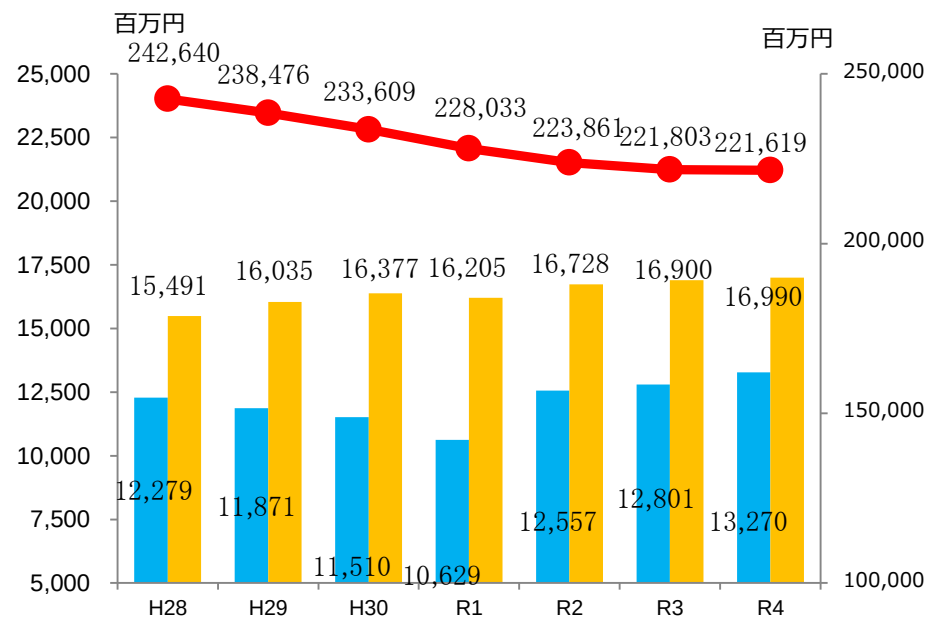


補てん財源は企業債の償還等に充当していますが、近年、企業債償還のピークを迎えているため、残高が少なくなっています。

(R2まで決算値 R3・R4は予算値)

企業債残高

企業債発行額 企業債元金償還額
企業債残高 (右目盛り)



R4時点の企業債残高は、市民一人あたり22.8万円の負債となります。

3 予定財務状況 (2) 予定損益計算書

(単位：百万円・税抜)	R3年度	R4年度	増減額	増減率
1. 営業収益	21,252	21,247	▲5	▲0.0%
2. 営業費用	24,974	24,735	▲239	▲1.0%
営業利益	▲3,722	▲3,488	+234	+6.3%
3. 営業外収益	7,895	7,687	▲208	▲2.6%
4. 営業外費用	3,400	3,197	▲203	▲6.0%
経常利益	773	1,002	+229	+29.6%
5. 特別利益	28	78	+50	+178.6%
6. 特別損失	118	30	▲88	▲74.6%
当年度純利益	683	1,050	+367	+53.7%
営業収支比率	85.1%	85.9%	+0.8ポイント	
経常収支比率	102.7%	103.5%	+0.8ポイント	

営業収支比率（％）＝営業収益÷営業費用×100

経常収支比率（％）＝（営業収益＋営業外収益）÷（営業費用＋営業外費用）×100

※特別損失は予備費を含む。

3 予定財務状況 (3) 予定貸借対照表（バランスシート）

13

(単位：百万円)		R3年度	R4年度	増減額
資産		453,410	454,480	+1,070
	1. 固定資産	445,765	447,757	+1,992
	2. 流動資産	7,645	6,723	▲922
負債		395,653	394,626	▲1,027
	3. 固定負債	205,266	205,303	+37
	4. 流動負債	23,699	21,949	▲1,750
	5. 繰延収益	166,688	167,374	+686
資本		57,757	59,854	+2,097
	6. 資本金	35,763	37,412	+1,649
	7. 剰余金	21,994	22,442	+448
自己資本構成比率		49.5%	50.0%	+0.5ポイント

自己資本構成比率(%)= (資本金+剰余金+繰延収益) ÷ 負債資本合計×100

3 予定財務状況 (4) 予定キャッシュ・フロー (CF) 計算書

(単位：百万円)	R3年度	R4年度	増減額
1. 業務活動によるC F	11,290	10,692	▲598
2. 投資活動によるC F	▲8,451	▲12,639	▲4,188
3. 財務活動によるC F	▲2,134	2,126	+4,260
資金増減額	705	179	▲526
資金期首残高	4,079	3,764	▲315
資金期末残高	4,784	3,943	▲841



3 予定財務状況 (5) 予定資金収支（対中長期経営計画比較）

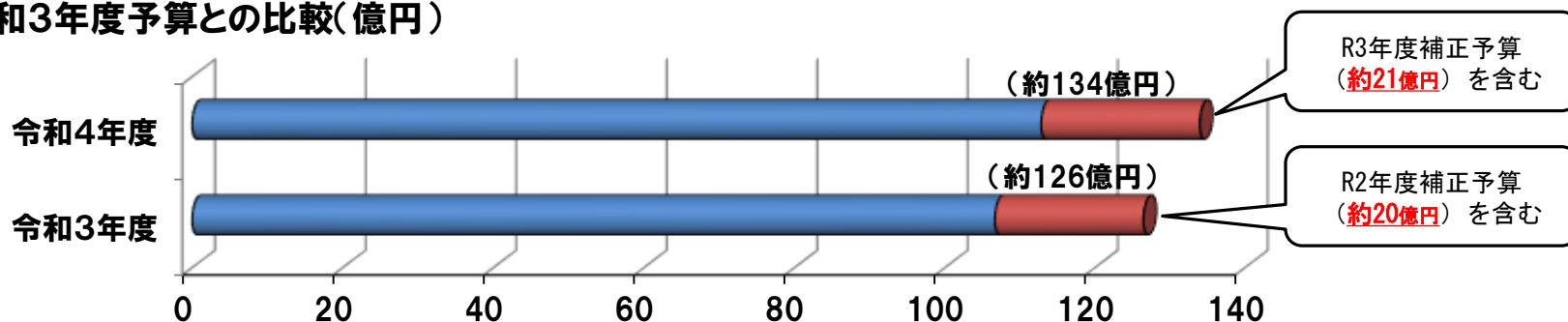
(単位：百万円・税込)	R4予算額	中長期計画額	増減額	増減率	主な増減要因
1 収入	41,651	44,191	▲2,540	▲5.7%	
(1) 下水道使用料	14,645	14,644	+1	+0.0%	
(2) 一般会計繰入金	10,539	10,168	+371	+3.6%	
(3) 企業債	13,270	16,202	▲2,932	▲18.1%	建設改良費の減による
(4) 国庫補助金	2,989	3,000	▲11	▲0.4%	
(5) その他	208	177	+31	+17.5%	
2 支出	41,421	44,191	▲2,770	▲6.3%	
(1) 維持管理費	8,927	9,299	▲372	▲4.0%	
(2) 資本費	20,070	19,948	+122	+0.6%	
①企業債償還金	16,990	17,016	▲26	▲0.2%	
②支払利息	3,080	2,932	+148	+5.0%	
(3) 特別損失	10	5	+5	+100.0%	過年度下水道使用料還付の見込増による
(4) 建設改良費	11,652	14,959	▲3,307	▲22.1%	
(5) その他	419	238	+181	+76.1%	流域下水道建設負担金の増による
(6) 消費税納税額	343	▲258	+601	▲232.9%	
3 資金収支	230	0	+230	—	



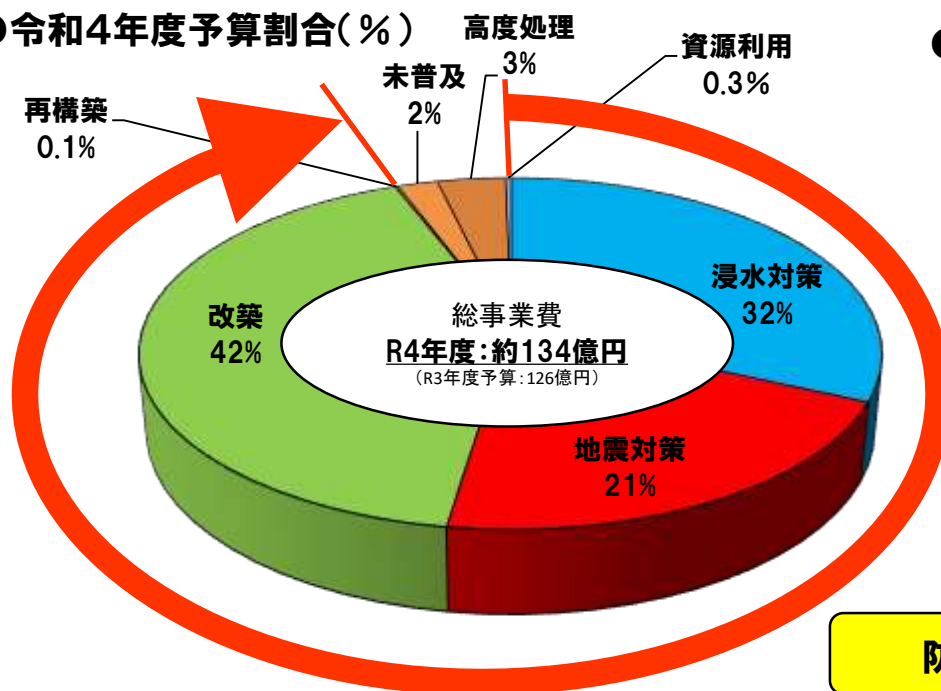
4 令和4年度予算における重点事務事業 (1) 重点事務事業の予算

◆令和4年度予算と令和3年度予算との比較

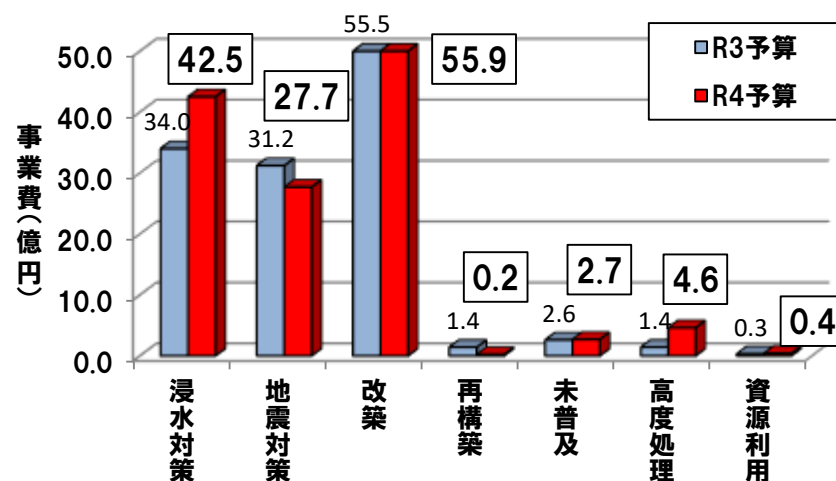
●令和3年度予算との比較(億円)



●令和4年度予算割合(%)



●令和3年度予算との施策別比較(億円)



防災・減災事業が全体の約95% (約126億円)

主要施策 I - 1

浸水被害の軽減と対策の強化 4,250百万円 R3補正:256百万円含む

(R3:3,404百万円 前年比:124.9%)

- ① 雨水対策重点地区整備基本方針に基づいた浸水リスクの高い「重点地区」、その他の「一般地区」において、雨水管渠や貯留槽などの整備を進めます。
さらに、令和元年10月の大雨により浸水被害を受けた地区においても引き続き浸水対策を進めます。
- ② 市民による防水板設置の費用の一部を引き続き助成します。

① 雨水整備(重点地区)

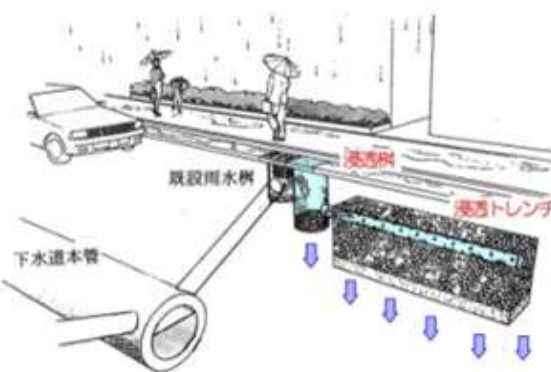
弁天、宮崎、みつわ台 地下貯留施設
弁天、都町 600m

雨水整備(一般地区) 1,705m

浜野町、千城台南、誉田町、稲毛海岸 他

浸透施設整備

小仲台、原町



② 助成制度

防水板設置費用の一部を助成



ハード対策に加え、
ソフト対策も行っています

主要施策 I - 2

地震時における機能の確保 **2,770百万円** R3補正:1,015百万円含む

(R3:3,119百万円 前年比:88.8%)

- ① 大規模地震発生時における下水道の機能を確保するため、下水道管渠の耐震化及びポンプ場の耐震診断を実施します。
- ② マンホールトイレについては、平成29年度からプール水を使用した整備を行い、令和5年度までに166箇所の避難所である市立小・中学校などへの設置完了を目指します。
(平成28年度までは非常用井戸水を使用し、55箇所に設置完了)

① 下水道管渠の耐震化 9.3km

中央区：浜野町、都町 他

花見川区：検見川町、こてはし台 他

稲毛区：轟町、天台 他

若葉区：北大宮台、みつわ台

緑区：大野台

・緊急輸送路下などの管渠を実施
(東日本大震災で被災した美浜区は
R3年度執行分でほぼ完了)



東日本大震災における被災状況

処理場・ポンプ場の耐震化

南部浄化センター 消化タンク棟

大椎ポンプ場 耐震診断 他



マンホールトイレ

② マンホールトイレの設置 20箇所(160校/166校)

主要施策 I - 3

ストックマネジメントの推進 5,592百万円 R3補正:841百万円含む

(R3:5,550百万円 前年比:100.8%)

- ① 急増する老朽化した施設に対して、施設のリスクや状態を評価・分析し、効果的な施設管理を行うため、千葉市下水道ストックマネジメント計画(H30～R4)に基づき、老朽化した施設の改築を計画的に進めます。
- ② 下水道ストックマネジメント計画に基づき、適正に維持管理を行うことにより、より安定的な下水道サービスを提供していきます。

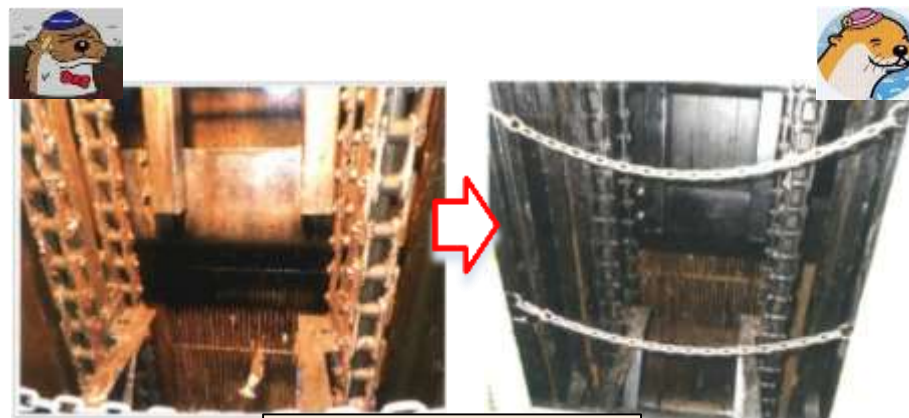
(さらに、令和4年度に次期ストックマネジメント計画(R5～R9)を策定します。)

① 処理場・ポンプ場設備の改築

中央浄化センター 監視制御設備
 南部浄化センター 汚泥濃縮機設備
 監視制御設備 他
 村田雨水ポンプ場 沈砂池設備 他



下水道の機能を
適正に維持します



(参考事例) 除塵機の改築

下水道管渠の改築 14.0km

中央区：今井、末広 他

若葉区：中田町、原町 他

緑区：大木戸町、高津戸町

年間100kmのカメラ調査、50kmの目視調査を行い、
管渠の状態を監視しており、補修・改築を実施し、
道路陥没を未然に防止します。



(参考事例)カメラ調査



(参考事例)管渠の改築



② 下水道施設の適正な維持管理

マンホール蓋の更新 1,000個

草野みずのみち（護岸塗装） 120m



(参考事例)マンホール蓋更新

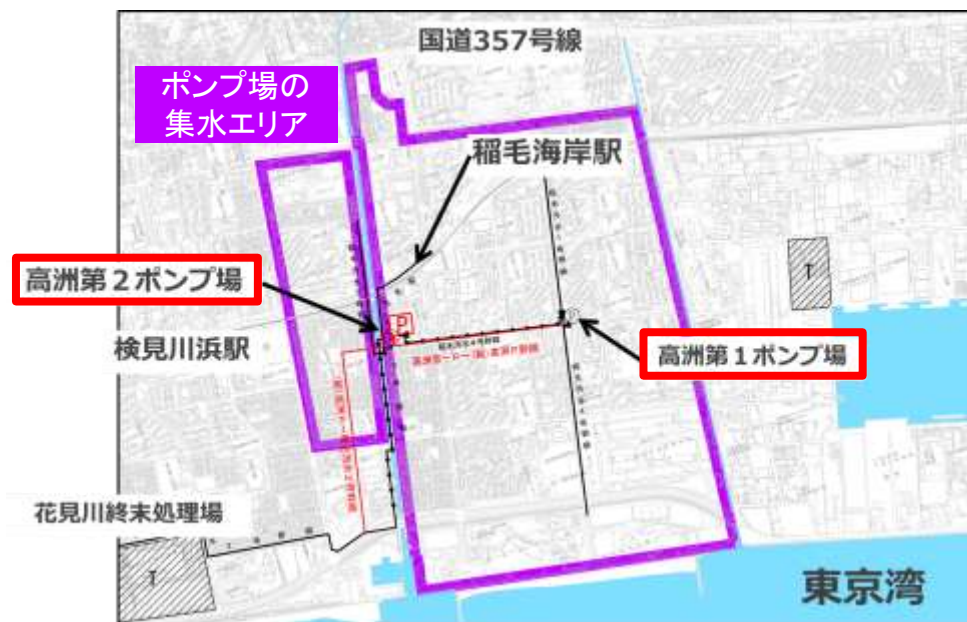


(参考事例)護岸塗装



主要施策 I-4**施設の再構築 16百万円** (R3:139百万円 前年比:11.5%)

将来の人口減少に伴う汚水量の減少などを考慮し、老朽化したポンプ場の統廃合を実施します。

高洲ポンプ場 PFI導入可能性調査委託

高洲第1ポンプ場
昭和47年4月運用開始



高洲第2ポンプ場
昭和48年10月運用開始



高洲第1・第2ポンプ場を
統廃合します。

主要施策 I-5**未普及地域の解消 273百万円** (R3:264百万円 前年比:103.6%)

快適な市民生活に寄与するため、污水管渠の整備を進めます。

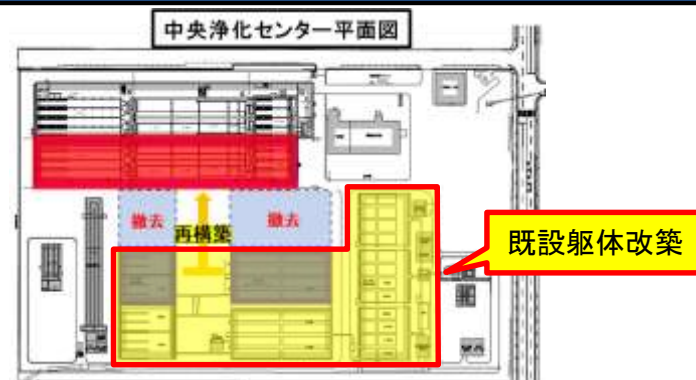
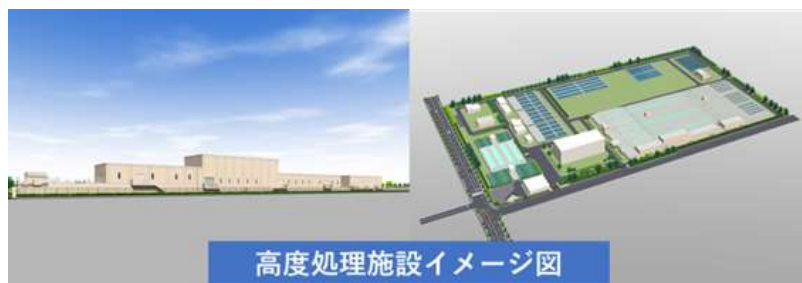
污水整備 5.3ha 稲荷町、宮野木台、稲毛町、東寺山町、土気町 他

主要施策Ⅱ-2

高度処理の推進 457百万円 (R3:143百万円 前年比:319.6%)

東京湾の水質保全と、良好な水環境を整えるため、中央浄化センター2系列目の高度処理施設の整備に向け、既設水処理施設の躯体改築を行います。

水処理施設躯体改築工事 他



主要施策Ⅱ-4

資源の有効利用 40百万円 (R3:28百万円 前年比:142.2%)

- ①南部浄化センターにおいて、老朽化が進んでいる污泥焼却炉の更新にあわせ、下水污泥固形燃料化事業の事業者選定を行います。
- ②太陽光発電導入手法検討やバイオマス資源利活用基本構想検討を行います。

- ①下水污泥固形燃料化事業 事業者選定 (DBO方式)
- ②太陽光発電導入手法検討
バイオマス資源利活用基本構想検討

